

2 級面接試験対策
これだけ覚える攻略法 動画教材 90 分

34 回の試験は企業分野(企業内での働き方)のケースが目立ちます。それは厚労省が企業内キャリアコンサルタントを増やし、活躍してほしいという意向の表れではと思います。需給調整機関分野は1つだけ定年後の働き方や再就職のお悩みです。今回のこれだけ覚えるは各ケースにでてくる相談者の気持ちや本人が気づいていない問題を浮き彫りにし、さらに方策案もお示しています。正解ではなく合格者たちが自分だったろう対応するという例です。皆様の面談のヒントになれば幸いです。

動画	分野	テーマ	動画時間	内容
		ガイダンス	15 分	試験官はどこを見て採点をしているかを解説します。試験実施が評価区分を正しく理解することが必要です。
No.1	教育分野	学生就職	15 分	国際教養学部で学んだ大学 4 年生の 6 月～7 月の就職活動の本人は気がつかない問題を見立て、その課題に気づきを促し、CC が掲げた目標に合意をえますが、「キャリアセンターに行ってください」という方策では具体的展開の評価の加点が促せません。
No.2	企業分野	中堅 今後の働き方	15 分	13 年編集部でやりがいを持って働いていた専門職の中堅社員の人事異動。編集職の強みは営業の仕事に活かせないのか、元々苦手意識があるが、営業の仕事の正しく理解しているか、交際相手の転勤で今後の働き方を考えている。どうしたらよいかわからないという混乱をまず傾聴し受容するところから始まる。
No.3	企業分野	中堅 育児と仕事の両立	15 分	制度を活用し育児と仕事の両立を考えていた相談者の今後の選択という企業内での働き方について、なぜその選択でよいかを丁寧に傾聴し、本人が気がつかない課題を見立てます。制度について、両立について、あと 10 年続く子育てと夫の協力など、自己理解不足か仕事理解不足かを見立てていきます。44 歳の自己理解不足と方策を考えます。
No.4	需給調整 機関	定年後の働き方	15 分	多忙な日々からの解放、やり切った達成感。これからはゆっくりしたい。のんびり過ごしていたという表現から、仕事から距離を置きたいというスタンスか。同級生の姿と自分を比較し、焦りを感じた心境。やりたいことがあったの就活だったのか。どうしても仕事をしたのであれば営業職や営業本部長時代の経験はどのような強みがあるかを傾聴し自己理解仕事理解を考えてもらう。
No.5	企業分野	熟年 企業内での 働き方	15 分	就職氷河期世代の就活のご苦労を経て仕事は真剣に取り組んだ結果、現在は経理課係長となっていることへの承認。知人の状況を耳にし、今後の生き方への漠然とした不安に寄り添いたい。 昇進の内示で前向きな感情など悲喜こもごもの 51 歳。夫と長男の年齢も考慮しつつ、ワークライフバランスを意識した「今後の人生」について考えてみる。
受講料 90 分				■会員価格 (税込み) 9,800 円 ■一般価格 (メール情報会員) (税込み) 14800 円
6 月 18 日より販売いたします。7 月 9 日まで視聴可能です。				